

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 25 年度	学位名		修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	郭 文岳
指導教員氏名 岡田 幸彦				
報告書題目 みとしんにおける中小企業金融の現状に関する実証的研究 (企業イメージの先行要因に関する研究)				
報告書概要 <p>金融庁とみとしんが公表した資料によると、みとしんは、全国の信用金庫と同様に、地域密着型金融の取組みが着実に推進されているにもかかわらず、融資先が流出しているという課題を抱えている。先行研究では、強い企業イメージの構築は、ロイヤルティを向上させ、企業の更なる発展に繋がると指摘されている。そこで、本章は、融資先企業におけるみとしんの企業イメージに着目し、企業イメージの先行要因を明らかにすることを目的としている。</p> <p>先行研究に基づき、仮説を 6 つ立てた。また、みとしんの状況を踏まえて統制変数を作成した。各仮説で使われている変数について、先行研究で示した尺度を参考し、みとしんの融資先企業への質問紙調査の質問項目を作成した。</p> <p>調査結果を集計し、分析を行った。まず、基本統計量を算出し、信頼性検証を行った。次に、相関係数を算出し、重回帰分析の共線性診断を行った。その結果に基づき、構造方程式モデリング(SEM)を用いて分析を行い、2 つのモデルにおける適合度を比較し、モデルを選出した。最後に、仮説を検証して考察を行った。その結果、サービス品質、知覚価値、パブリシティ、満足度と統制変数の訪問頻度が企業イメージに有意な正の影響を与えることが明らかになった。また、先行要因の中に知覚価値の部分的媒介効果の重要性が示唆された。探索的な分析の結果、利他的動機が企業イメージに正の影響を与える可能性を示した。</p>				
審査日 平成 26 年 1 月 27 日				
審査員	(大学名	職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学	準教授	博士(経済学)	生稲 史彦
副査	筑波大学	助教	博士(工学)	川村 大伸
副査	筑波大学	準教授	博士(商学)	岡田 幸彦